

不透明な経営環境のなか、
グループ全体で営業利益を確保。
通期ではさらなる上積みを目指します。

当第2四半期連結累計期間（2011年4月～9月）の日本経済は、東日本大震災の影響による厳しい状況から徐々に回復傾向にあり、景気の持ち直しに期待できる環境が整いつつあります。その一方で、最近の為替や株安などの金融資本市場への影響や継続的な電力供給の制約などによる景気の下振れリスクには一層の注視が必要な状況です。

このような状況で、当社グループの連結売上高は530億9千3百万円、営業利益は13億5千7百万円となりました。また、経常利益は16億3千5百万円、四半期純利益は7億1千万円となりました。

売上高

530億9千3百万円

営業利益

13億5千7百万円

四半期純利益

7億1千万円

1株当たり配当金

10円

2012年3月期 業績予想

連結売上高…………… 1,078億8千万円
連結営業利益…………… 18億円
・スポット市況の回復などから上方修正
・BSジャパンは好調を維持

1株当たり配当金

〈配当方針、目標〉

長期的な経営基盤の充実に向けた内部留保とのバランスに考慮し、安定的な配当を重視しつつ業績に応じて利益を還元します。

1株当たりの配当金については年額20円を下限とした安定配当に加えて、業績に連動した配当として連結ベースで配当性向30%を目標とします。

〈2012年3月期 期末配当予想〉

1株当たり10円
(年間配当は1株当たり20円)

\ Check! /

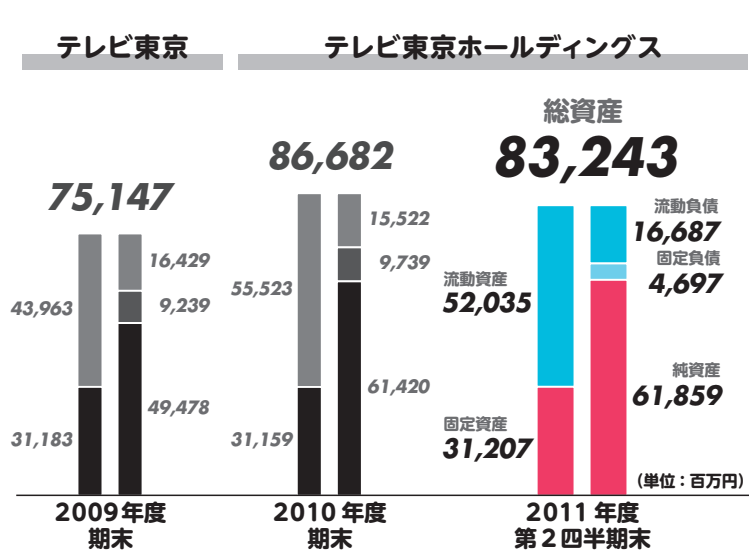
連結財務諸表（連結貸借対照表、連結損益計算書ほか）、財務ハイライトは当社IRサイトをご覧ください。

TXHD 財務・業績情報

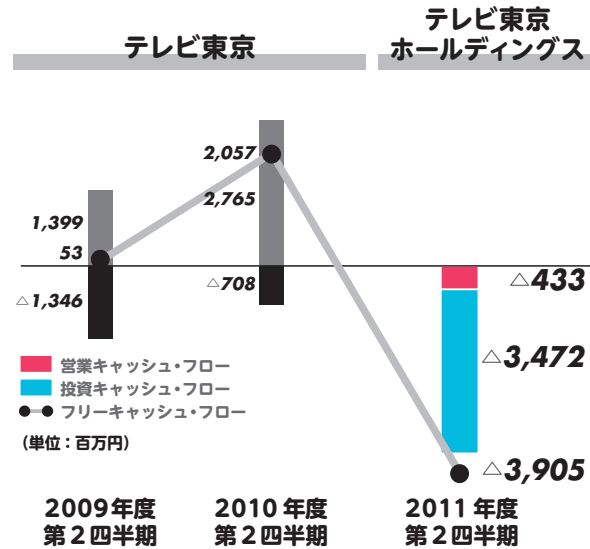
検索

<http://www.txhd.co.jp/ir/finance/>

資産の状況



フリーキャッシュ・フロー



資産の状況

〈流動資産の主な内訳〉

- ・現金及び預金 …… 211億1千万円
- ・受取手形及び売掛金 …… 187億1千5百万円

〈固定資産の主な内訳〉

- ・有形固定資産 …… 164億3千8百万円
- ・投資有価証券 …… 80億5千8百万円

〈流動負債の主な内訳〉

- ・未払費用 …… 75億1千6百万円
- ・支払手形及び買掛金 …… 30億4千6百万円

〈固定負債の主な内訳〉

- ・退職給付引当金 …… 32億2千9百万円

フリーキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は85億円となりました。ロンドンオリンピックの権利取得などによりたな卸資産が増加した結果、営業キャッシュ・フローが4億3千3百万円の資金支出となったことなどによって、フリーキャッシュ・フローは39億5百万円の資金支出になりました。

損益の状況

テレビ東京ホールディングス 2011年度 第2四半期

